



消費生活サポーターだより

No. 18

発行 平成31年1月

長野県消費者被害防止啓発キャラクター

もシカっち

長野県消費生活サポーターの皆様こんにちは。

今月も、皆様の啓発活動に少しでも参考となるよう情報をお知らせしますので、ぜひ活用していただきますようお願いします。

比較的穏やかな天候での新年の幕開けでしたが、いよいよ一年の中でも寒さの厳しい時期を迎えました。インフルエンザなどにも十分に気をつけて、健康にはご注意ください。本年も引き続きどうぞよろしく申し上げます。

~~~~~ 今月号の目次 ~~~~~

### 1 送付資料(啓発資料)から

◎独立行政法人国民生活センター（詳細は別紙参照）

「見守り新鮮情報 第324号、第325号」、

◎長野県発行資料

「メールマガジン1月号」

「平成30年度若者向け悪質商法被害防止リーフレット」

### 2 情報掲示板(お知らせ)

◎見守り活動推進研修会（消費生活サポーター研修会）を県内9会場で開催します。

2月5日（火）～28日（木）の間において、9会場において開催します。

消費生活サポーターの皆様の研修の機会の一環として計画しております。

多くの皆様の御参加をどうぞよろしく申し上げます。

◎長野県版エシカル消費キックオフフォーラムを開催しました。

200名を超える皆様に参加をいただきました。御参加いただいた皆様ありがとうございます。

長野県版エシカル消費をより多くの皆様に知っていただく機会になりました。

◎消費者セミナーの開催について

特定非営利活動法人 ながの消費者支援ネットワーク主催により、2月9日（土）

13:30～16:00 長野市生涯学習センターにおいて開催が予定されています。

### **3 活動紹介(こんな活動が行われています！)**

消費者大学、長野県版エシカル消費キックオフフォーラムに参加いただいた皆様からの感想の一部をご紹介します。

### **4 知っておきたい参考情報**

冬に多く発生する事故についてをご紹介します。

## **1 送付資料(啓発資料)から** 詳細は別紙の啓発資料を参照ください。

◎独立行政法人国民生活センター発行資料

「見守り新鮮情報 第 324 号」「天皇陛下の退位に便乗した商法にご注意」

「見守り新鮮情報 第 325 号」 「除雪サービス料金や作業内容を事前に確認しましょう」

## **2 情報掲示板 (お知らせ)**

◎見守り活動推進研修会 (消費生活サポーター研修会) を県内 9 会場で開催します。

2月5日(火)～28日(木)の間において、9会場において開催します。

消費生活サポーターの皆様の研修の機会の一環として計画しております。

啓発活動の具体的な事例の紹介や、高齢者の消費者トラブルとして多い事例のグループでの検討といった内容を予定しています。お忙しい折かとは存じますが、多くの皆様の御参加をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

詳しくは、開催通知をご確認いただきますようお願いいたします。

◎長野県版エシカル消費キックオフフォーラムを開催しました。

1月12日(土)に200名を超える皆様に参加をいただき、松本市で開催しました。

県立大学の学生が県内の4地区のエシカル消費の取り組みにつながるお店を訪ね、紹介する内容をまとめた「ここからエシカルMAP」の発表や、エシカル消費と私たちの日々の生活とのつながりを考えるきっかけとなるお話が、県立大学の大室教授、フリーアナウンサー坂橋克明さん、「自然食品やナチュラルな雑貨、フェアトレードの衣類等」を扱う飯田市のてくてく代表阿部恵子さん、名古屋市でフェアトレードの先進的な取り組みを進めるエシカル・ペネロープ代表原田さとみさんからそれぞれありました。

長野県では、「長野県版エシカル消費」の認知度100%を目指し、取り組みを進めています。いよいよ「長野県版エシカル消費元年」がスタートしました。皆様の取り組みへの御理解をお願いします。

◎消費者セミナーの開催について

特定非営利活動法人 ながの消費者支援ネットワークの主催により、2月9日(土)

13:30～16:00 長野市生涯学習センターにおいて開催が予定されています。

テーマ「健康食品で健康になれるの？」講師森田満樹氏 (FOOCOM 代表)

詳しくは開催案内のチラシをご覧ください。

### 3 活動紹介(こんな活動が行われています！)

今年度新たに実施しました消費者大学、また先日開催した長野県版エシカル消費キックオフフォーラムには、消費生活サポーターの皆様にも大勢の皆様を受講いただき、ありがとうございました。



☆ **長野県消費者大学** 全6回それぞれ2会場で開催し、合計で380名の方に受講いただきました。県内各地から受講いただきました。



(松本会場)



(長野会場)

全6講座とも、グループに分かれ、事例の検討や、意見交換を行っていただき、参加者それぞれの方同士での情報交換などにもつながる機会になったのではないのでしょうか。

サポーターの方から感想を寄せていただきました。一部のみですが、ご紹介します

(売木村から受講された Iさん)

学びの楽しさの中で、あっという間に閉講となり、一抹の寂しさも……。今後は騙されないをモットーに、地域の人たちとも連携し、被害に遭わない、遭わせないといった活動を行っていきたい。受講できなかった回があってとても残念に思う。

(諏訪市から受講された Aさん)

全6回のうち、5回の講座を受講した。全講座とも、とても勉強になった。特に環境問題、食の安全についての講座はよかったと思う。普段から興味をもち、勉強していたので、良かった。これからのサポーターの活動に活かしていきたいと思う。

### ☆長野県版エシカル消費キックオフフォーラム



(県立大学の学生による発表)

(長野市から参加された Kさん)

地球環境の悪化は、人類の生存も危い状況の中で、私達の消費行動が未来をよくする第一歩になるということ、「エシカル消費」がスマートでカッコいい、そして、それが当たり前な社会にしていくことが今を生きる私たちの大切な役目であると強く感じました。SDGs (スゴク デッカイ ゴール) に向かったのスタートとなるフォーラムでした。

消費行動によって社会や未来は少しずつ変わります。

## 4 知っておきたい参考情報

今月は、冬のこの時期に特に多い事故についてご紹介します。

冬場は、暖房器具を使う機会が多く、火災や中毒による死亡事故が増加の傾向にあります。

死亡事故につながる火災も県内でも多く発生しています。

また、入浴中のヒートショックによる死亡なども、多く発生しています。

高齢者の事故を中心に現状をご紹介します。(消費者庁発表資料から)

☆毎年約 30,000 人の高齢者が「不慮の事故」で死亡。(平成 22 年以降継続して 30,000 人超の状況)

- ・交通事故、自然災害を除く不慮の事故による総死亡者数のうち、高齢者の割合は、8 割以上となっており、増加傾向。
- ・「不慮の事故」のうち、特に「誤嚥等の不慮の窒息」、「転倒・転落」、「不慮の溺死及び溺水」については、「交通事故」より死亡者数が多い。
- ・年代が上がるにつれて、人口当たりの事故による死亡者数は増加。年代が上がるにつれ、リスクは上昇しているとされています。

死亡者数の多い「誤嚥等の不慮の窒息」、「転倒・転落」、「不慮の溺死及び溺水」について

- **「誤嚥等の不慮の窒息」による事故**は、高齢者の「不慮の事故」の中で最も死亡者数が多く、このうち約半数を「気道閉塞を生じた食品の誤嚥」が占めています

事故要因となったものの食品では、「おかゆ類」、「餅」、「御飯」など主食類が多く、日常の食事の中で、事故が起きている傾向がみられます。

「食品以外」では、「包み・袋」、「薬剤」、「入れ歯」、「洗剤等」が多く日常生活でよく使うものを誤飲してしまい、事故になっていると考えられます。

- **「転倒・転落」による事故**は、家庭内と家庭外で分けて、性別で比較してみると、男性の方が家庭外で、女性の方が家庭内での事故が多くなっています。

年齢別では、65 歳～74 歳では、性別による差が少なくほぼ同じ水準ですが、75 歳以上になると女性が多くなっています。家庭内では、「居室」、「階段」、「廊下」、「玄関」、「ベッド」など

家庭外では、「道路」、「階段」、「段差」、「店内」、「エスカレーター」などで発生しています。

- **「不慮の溺死及び溺水」による事故**は、高齢者の「おぼれる」による事故のうち約 9 割強が「住居等居住場所」における「浴槽」で発生しています。

発生月別で見ると、11 月～3 月にかけて多く、全体の約 7 割を占めています。

入浴中の事故を防止するにあたっては、次の点に注意をしましょう。

- ①脱衣所や浴室を暖めてから入浴する。
- ②湯音は 41 度以上として、10 分までを目安にする。
- ③急に浴槽から立ち上がらない。
- ④食後すぐ、アルコールが抜けていない状態の入浴は控える
- ⑤精神安定剤、睡眠薬などの服用後の入浴は危険です。十分に注意しましょう。
- ⑥入浴する際には、家族、周囲に一声かけてから、見回ってもらう。

事故は、身近なところで、発生している状況から、あらためて、毎日の生活での事故の防止に気をつけていきましょう。



長野県くらし安全・消費生活課相談啓発係 担当：小泉

電話：026-223-6770 FAX：026-223-6771  
電子メール：kurashi-shohi@pref.nagano.lg.jp



しあわせ信州